

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 (全体)

事業所名	ka-kun project
住 所	大阪府堺市西区鳳南町 2 丁 1 4 9 - 3
電話番号	072-260-7470

事業所番号	2716301730
管理者名	城内 一臣
対象年度	2025 年度

(I) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		55 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	○	
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		
①前年度、前々年度及び前々々年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60 点
②前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥前年度、前々年度及び前々々年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方		
以下の項目を就業規則等で定めている		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度	○	15 点
②利用者を職員として登用する制度	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び勤務規律		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
⑤短時間勤務に係る労働条件	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
小計 5		点
5以上:15点、3~4:5点、2以下:0点		

(IV) 支援力向上		
以下の項目について取組実績がある		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会	○	15 点
②研修、学会等又は学会誌等において発表	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ	○	
④販路拡大の商談会等への参加	○	
⑤職員の人事評価制度	○	
⑥ピアサポーターの配置		
⑦第三者評価		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
小計 5		点
5以上:15点、3~4:5点、2以下:0点		

(V) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合:10点		

(VI) 経営改善計画		
経営改善計画書の作成対象事業所であるが、提出期限までに提出していない		0 点
未提出の場合:-50点		

(VII) 利用者の知識・能力の向上		
前年度において、利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、公表している	○	10 点
取組が1以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点	55
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			60
多様な働き方	0点	5点	15点						15
支援力向上	0点	5点	15点						15
地域連携活動	0点	10点							10
経営改善	-50点	0点							0
知識・能力	0点	10点							10

合計	
165	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	20,925	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,612	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（令和6年4月～令和6年3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	22,672,004	円	利用者に支払った賃金総額	12,454,737	円	収支	10,217,267	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	------------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,765,162	円	利用者に支払った賃金総額	17,511,012	円	収支	1,254,150	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	25,434,655	円	利用者に支払った賃金総額	24,628,725	円	収支	805,930	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している

①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。

※研修名 障害のある方の「ありがたい人生」をともに歩いていくための就労支援について  
 研修講師 社会福祉法人光明会 兼坂涉様  
 実施日・受講者数 7月18日 2人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している

※研修、学会等名 はくくみ学会 就労支援の事例共有会  
 実施日 12月12日  
 ※学会誌等名  
 掲載日 月 日  
 発表テーマ 「遅刻ぎみの危険な通所」

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している

もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名  
 実施日/参加者数 月 日 人  
 ※他の事業所名 フラワーキッチン様  
 実施日/参加者数 11月7日 2人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。

※商談会等名 高齢者配食サービス試食会  
 主催者名 ka-kunproject  
 日時 3月6日  
 内容 ケアマネージャー等への試食。

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している

⑤当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 令和8年3月25日  
 人事評価制度の対象職員数 2名  
 うち昇給・昇格を行った者 0名  
 当該人事評価制度の周知方法  
 年に1度、人事評価の面談を行う。

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している

⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～月 日  
 就業時間  
 職務内容

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日  
 第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日  
 規格等の内容

（Ⅵ）経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ka-kun project	事業所番号	2716301730
住 所	堺市西区鳳南町2-149-3	管理者名	城内一臣
電話番号	072-260-7470	対象年度	令和7年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>活動場所</b> 堺市西区鳳西町 西区役所エントラス</p> <p><b>実施日程</b> 毎月 第3木曜日 11時～13時</p> <p><b>実施した生産活動・施設外就労の概要</b></p> <p>西区役所内 作業所バザー</p> <p><b>利用者数 等</b> 7名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p><b>活動の様子の写真</b></p>  <p><b>成果物の写真</b></p> 
<p>&lt;目的&gt;</p> <p><b>地域連携活動のねらい</b> 販売で地域の方とふれあい</p> <p><b>地域にとってのメリット</b> 障害を持っている方への理解や交流</p> <p><b>対象者にとってのメリット</b> 大きい声を出し販売して他者と協力し合い・助け合い集団でしか出来ない場での学びやコミュニケーション能力を高める。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>実施した結果</b> 生産活動費の向上。</p> <p><b>得られた成果</b> 販売を通じ地域の方との交流により会話の楽しさ・緊張・不安などの克服。</p> <p><b>課題点</b> 今以上の生産活動費が上がると自信ややりがいを感じる。</p>	



## 連携先の企業等の意見または評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西区役所で開催される「にしにし市」（障害者施設の自主製品の販売会）に令和7年度は8回参加し、障害のある方と市民との交流の機会を積極的につくっている事を評価している。</li> <li>・ 障害のある方たちの社会参加や地域づくりのために、令和8年度は「にしにし市」の取り組みに加え、西区の日中活動事業所の連絡会に参加等、西区内の地域の事業所との連携がさらに強化されることを期待している。</li> </ul>			
連携先企業名	西区障害者基幹相談支援センター	担当者名	夏迫 久美子

## 就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ka-kun project	事業所番号	2716301730
住 所	堺市西区鳳南町2-149-3	管理者名	城内 一臣
電話番号	072-260-7470	対象年度	令和 7 年度

## 利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>活動場所:堺市西区 事業所にて          実施日程:令和8年3月16日(月)          実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要          金銭管理等勉強会          利用者数 等:16名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p> <p>活動の様子の写真</p>  <p>活動内容の追加コメント          グループワークでの話し合いをして情報交換や意見交換などの共有を行う。</p>  <p>成果物の写真          研修に参加した利用者の感想または今後の目標など</p>
<p>&lt;目的&gt;</p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい          金銭管理・金銭感覚を養う          利用者にとってのメリット          お金の大切さや無駄遣いを減らし意識を変化させる。</p>	
<p>&lt;成果&gt;</p> <p>実施した結果:利用者個人の意識が変化し考えを改めていくようになった。          得られた成果:金銭感覚の見直しができる。          課題点:中にはご家族が管理されていたり社協の金銭管理をお願いしてる方もいて自身での管理が難しい。</p>	

## 連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価 お金に関して正しい知識を持つことの大切さを学んで頂きたい。          今後の連携強化に向けた課題 障害を持たれている方でも知識のある方・ない方様々です。社会で生きていく中で、必要な事を学べる機会を増やしたい。</p>	
連携先企業(担当者)	なのはな社会保険労務士事務所 代表 原田 祥子

## 利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価</p> <p>今まで必要性がある・なしを考えずに購入していることや無駄遣いをしたり反省しました。この研修参加をきっかけに将来の為・病気やケガしたりと今後の自分自身の為にも貯金をしていかないといけないと感じました。</p> <p>この研修をうけ、自分自身の考えを改めていくきっかけになりました。家族と暮らしてますが当たり前のような感覚があり今後は将来に向けて当たり前を当たり前と思わず家族に迷惑かけず安心してもらうように努力していこうと思いました。</p>
--